

## 事業の概況

### ■ 預金

預金は、半期中177億41百万円増加し、中間期末残高は4,757億87百万円となりました。このうち普通預金は、半期中66億56百万円増加し、中間期末残高は2,965億81百万円となりました。

### ■ 貸出金

貸出金は、半期中8億99百万円増加し、中間期末残高は262億80百万円となりました。これらはすべて個人向け貸出金であります。

### ■ 有価証券

有価証券は、半期中86億26百万円減少し、中間期末残高は3,541億60百万円となりました。

### ■ 損益の状況

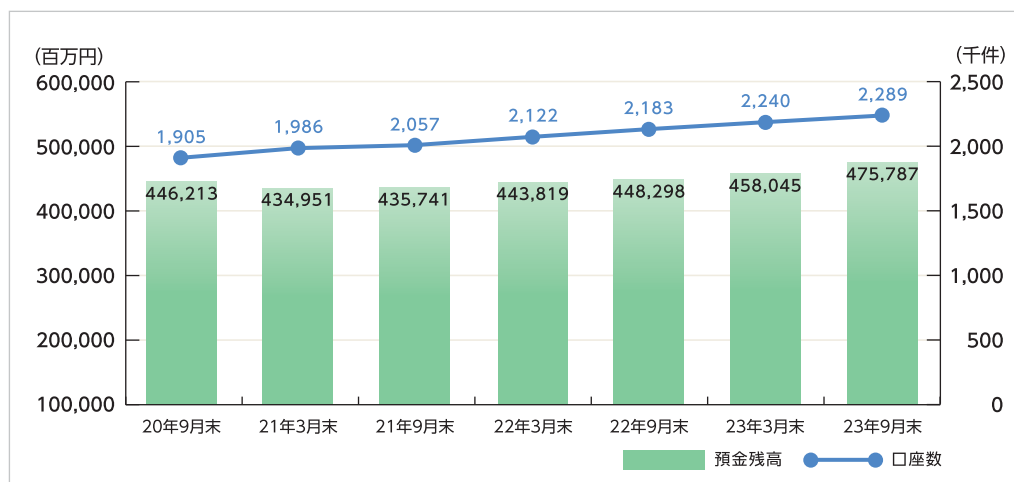
収益につきましては、市場金利の低下等により資金運用収益が減少いたしました。役務取引等収益は、東日本大震災影響下での公営競技等の中止による決済手数料の減少、外国為替証拠金取引(FX)の手数料無料化により減少いたしました。一方で、FXにかかる外国為替売買益の増加によりその他業務収益が増加いたしました。これらにより経常収益は前中間期比1億30百万円減少し、94億5百万円となりました。

費用につきましては、預金金利の引き下げにより資金調達費用が減少いたしました。また、投資信託の売却に伴いその他経常費用が増加しました。これらにより、経常費用は前中間期比45百万円減少し、82億40百万円となりました。

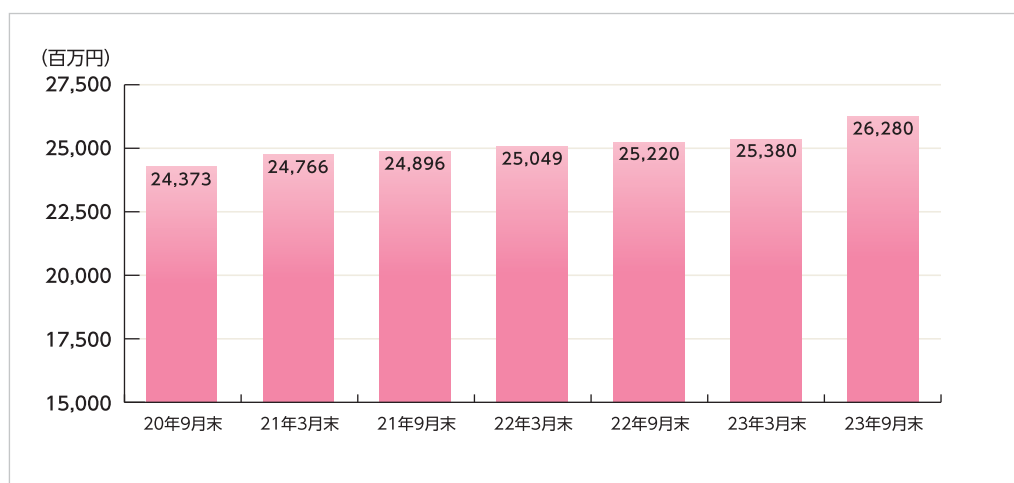
このほか、繰越欠損金の解消に伴い、法人税等4億44百万円を計上いたしました。

以上の結果、当中間期の経常利益は11億64百万円、中間純利益は7億41百万円となりました。

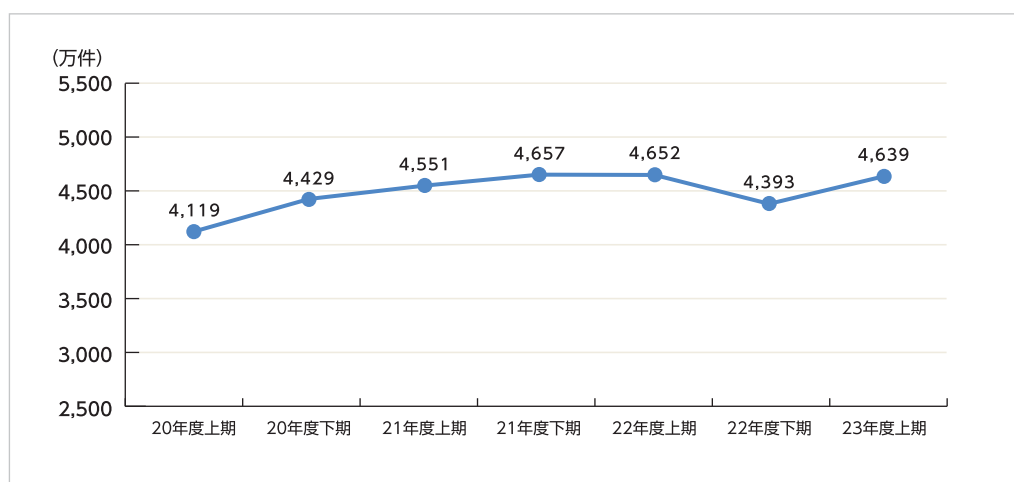
■ 預金残高と口座数の推移



■ 個人向けローン残高の推移



■ ネット決済件数\*の推移



\*通常の振込とXMLを利用した即時決済取引、toto関連決済取引およびワンタイムデビット決済の合計件数